

# Supporting Member's Speciality

（一財）砂防・地すべり技術センター（STC）

## STC 安心・安全のための確かな技術を提供

### 1, STCが提供する技術

STCは、昭和50年の設立以来、土砂災害が発生する度に、その時点における最新の砂防・地すべり・火山噴火防災等の技術を現場に提供し、また、予防のための技術開発に取り組んできました。

設立から44年目を迎える現在、STCが皆様に提供している技術は右図に示す内容になっています。



### 2, STCの最近の技術開発と普及

#### ●流木捕捉工

平成29年, 30年は、広域に及ぶ豪雨により広範囲で同時多発的に土石流が発生し、特に流木が被害を拡大させたと考えられる事象が多く発生しました。

これまで以上に流木対策を加速させる必要があることから、STCでは、既設砂防堰堤に流木捕捉機能を付加する工法の開発とその普及に取り組んでいます。普及においては、STCから技術者を現場に派遣して技術提供を行っています。

STCが持っている最新の技術を、皆様の現場にぜひお役立てください。また、技術指導のご用命をお待ちしています。ご用命はSTC企画部五十嵐まで。

**張り出しタイプ（設置例）** ◆張り出しタイプのメリット

1. 本堤の嵩上げ・切欠きが不要  
→施工費の低減、新たな用地確保が不要
2. 埋上げが起りにくい合理的な配置  
→本堤の上流側で流木を捕捉するため、水通し部の閉塞や袖部からの越流は生じない
3. 施設効果量の最大化  
→湛水面積が広いほど捕捉量が多くなり、副堤タイプと比べて費用効果は高くなる。

**スクリーン型流木捕捉工（流木スクリーン）**

設置イメージ1      設置イメージ2

★従来型（垂直部材）  
捕捉面に対し、水圧が垂直にかかるため、流木が固定されやすく、開口部を塞ぎやすい。無害な土砂も溜まるため、水深が上がりやすく流木が越流する恐れが高くなる。

◆スクリーン型流木捕捉工のメリット

1. 無害な土砂は流下させる  
→流木は除去しやすい（維持管理の容易性）
2. 水位上昇が抑えられる  
→流木が越流しにくい（流木捕捉の確実性）
3. 設置はコンクリートに掘入れ不要  
→トータルコストの縮減（災害への対応力）

★スクリーン型（斜め部材）  
捕捉した流木は水位の変化に追従する。水面下に開口部が保持され、無害な土砂は流下する。そのため、水深が上がりやすく流木の越流も生じにくい。



一般財団法人 砂防・地すべり技術センター  
Sabo & Landslide Technical Center (STC)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館

Tel03-5276-3271（代表） Fax03-5276-3391